

西江通信

秋号 -Vol.2-



現場だより	1-2
Eco Action!	3-4
特集「インターンシップ」	5
PLUS NEWS!	6

畑地帯(育成)更別第3二期外1地区71工区にて帯広工業高等学校の実習生に仕事の面白さを伝える現場代理人 山内政人 / 撮影:石澤 美翔



現場だより

誉橋床止工

工事名 : 音更新得線 防B改良工事(誉橋床止工)(道債)
施工場所 : 河東郡音更町
施工期間 : H31.3.28 ~ R1.10.25
発注者 : 十勝総合振興局 帯広建設管理部
請負者 : 西江建設株式会社
進捗率 : 100% (10月末時点)
現場職員 : 明河 毅



GENBA DAYDORI

西江建設が手掛ける工事現場を徹底解剖！
現場代理人からリアルな現場の声をお届けします。

工事概要

急流な河川である然別川に架かる誉橋下部工の保護を目的として、橋梁下流部の河床勾配の緩和、川道拡幅の実施及び河川護岸工事床止工を整備する工事です。前年度に萩原建設工業(株)が施工した上流部の続きで、本工事で完成となります。

8月8日からの3日間で100mm近くの雨量を観測し、増水による越水にハラハラしましたが、締切部の保護強化を図るなどし、無事に工事を完成させることができました。

現場代理人



明河毅

AKEGAWA TSUYOSHI

難しく感じるころ

日々の天候等により変化する河川水位です。自然相手に仕事をしていることを再認識させてくれます。まとまった雨が降る日は、水位と天気予報ばかりを見えています。「水位観測所」→「Weather news」→「YAHOO! 天気」→「tenki.jp」のループ。近年、全国各地の大雨による被害を新聞・テレビ等で目にするのが多いですが、工事現場が影響を受けているんだろうなと心配しながら見えています。

建設業に携わる前と後

就職する前のイメージは「土木」の印象が強かったですね。就職後の印象は「自然と土木」に変わりました。今回の現場でいえば、工事区域内の動植物の調査や魚類の保護活動ですね。

特に河川工事をするると大小さまざまな生物を見ることができます。ヤマメやニジマス、フグドジョウに水棲昆虫まで含めると数え切れません。釣り好きな人には大興奮のラインナップではないでしょうか。インドア派の僕でもアウトドア派にちょっとだけ転向って感じですね。

危険作業への対策

熟練者は流れるように作業をするので、「慣れ」からくる事故が起こらないよう、様子を見て話かけに行きます。



雑談しに行ったら怒られちゃいますから、ちょっとした作業の確認や注意喚起などを手短かにですけど。



工区外へ水生生物を移している様子



移した水生生物(上からドジョウ・ニジマス・ウグイ)



達成感を感じるころ

納めた工事に何の問題もなく、そして無事故で施工が完了したことが前提ですが、完成検査終了後、総評を終えて車で立ち去る検査官に、脱帽し、お辞儀を終えた瞬間が一番、達成感を感じます。



ちなみに、空っぽの現場事務所は「いよいよはじまるかあ」の使命感と「やっと終わったあ」の達成感と、二つの顔がありますね。

今の現場を目指したころ

一人でも多くの工事関係者が笑顔で終われる現場を目指しています。誰かがケガをしても、誰かをケガさせても、何かを壊しても、注文内容と違って、納期を過ぎても、赤字で終わっても、近隣の方を困らせても、笑顔でいることはないと思いますので。笑顔で怒る人はいられるかもしれませんが(/;_)。



そのために、品質管理・原価管理・工程管理・安全管理・環境管理と当たり前のことを怠らないように一つ一つ確実にこなすことを心掛けています。上手くいかないこともあります。そこを目標にしています。

休日の過ごし方

映画(邦画・洋画)やドラマやアニメが好きなのでよく観ます。ドラマは続きが気になり過ぎて深夜でも続きを借りに行きます。朝までかけて一気に全話観ることもありますね。優柔不断なところがあるのでレンタルショップで選ぶのに一時間くらいかかることも多々。



工事部工事課主任

平成16年入社

好きな食べ物
ツノギスオノ

最近気になること
宇田人の存在

ちょっとこぼれ話

- 概 歴：2002年から開始
- 期 間：毎年5月～11月
- 場 所：本社周辺道路（北1丁目線）
- 目 的：地域美化
- 参加者：本社職員・近隣町内会のみなさま・近隣会社



花壇造成

2002年から始めた花壇造成活動は、今年で17年目となりました。北王コンサルタント(株)と連携・分担し、北1丁目線の花壇をマリーゴールドとサルビアの花苗で彩りました。

地域美化を目的に始めたこの活動が評価され、2011年には地域の景観づくり活動に取り組む企業として「北海道景観づくりサポート企業」※1に登録されました。



※1 北海道建設部まちづくり局都市計画課によって認定



西江建設は、社会資本整備を担う会社として地球環境保全について真剣に考えています。地域住民の方々に呼びかけながら一緒に取り組んでいる、様々な活動についてご紹介します。

また、花壇造成は毎年、近隣のみなさまにもご参加いただいています。今年も新十勝大橋町内会のみなさま、北洋道路(株)、三和警備(有)、セイコーリース(株)の方々からご協力をいただき、合計1700株の花苗で本社周辺の花壇を彩りました。



もちろん、植えるだけでは活動は終わりません。長い期間、鮮やかな花壇を楽しんでもらえるよう、散水や追肥を行い、毎月末には本社の職員総出で草抜きをしています。



＝西江のEco Action＝

- ◇ NPO法人十勝多自然ネットの運営
- ◇ 札幌内川クリーンウォークへの参加
- ◇ 十勝川河川清掃の運営・参加
- ◇ 北海道景観づくりサポート企業への登録
- ◇ 花壇の造成
- ◇ 道路清掃の実施
- ◇ 太陽光発電システムの活用
- ◇ クール・ビズ、ウォーム・ビズの実施
- ◇ 水生生物の生息環境に配慮した工法
- ◇ エコドライブの実践
- ◇ ノーカーダーの実施



- 概 歴：1998年発足、2001年からNPO法人化
- 期 間：不定期
- 場 所：帯広市周辺の小河川など
- 目 的：自然環境の維持保全、調査研究、啓発活動
- 参加者：市内の地域住民、小学生など



NPO法人十勝多自然ネット

十勝多自然ネットは、当社を含めた十勝管内の5社の建設会社が運営するNPO法人で、当社社長が理事長を務めています。

主な活動内容は、水辺環境における自然と人の調和についての調査研究、環境教育ならびに啓発に関する事業などです。地域住民や学校などと協同し河川の美化活動や自然観察会、体験学習などを実施します。他にも、河川の環境改善のための工事や植生、水質調査、サケの放流、他団体主催の環境活動への協力など、環境保全を目的とした様々な取り組みを行っています。



河川の水質調査



サケの放流

小学校での体験学習



業務課主任 福井恵

8月30日、機関庫の川にて体験学習を開催し、豊成小学校3年生146名が参加しました。

実際に川に入り、ザリガニやヤマメなどをバケツいっぱい捕獲し、水生生物たちを観察しながらその特徴や生態について熱心に学びました。



WANTED:ウチダザリガニ

体長15cm程のやや大型のザリガニで、もともと住んでいた在来種の二ホンザリガニを追い出し生態系を壊してしまうため、特定外来生物に指定されている。



水辺に住むいきものを検索中…。

常務取締役 西江晴彦



子どもたちの感想

あらためて川のいきものがかわいく思えた！

ヤツメウナギも捕まえるのが一番楽しかった！

みんなで協力してたくさん捕まえて楽しかった！

角虫のはちよとこわいけど、ザリガニの重さがおもしろかった！

当社職員が捕まえたいきものについて解説。



営業課 坂本樹一朗



工事課長 妹尾慎一郎

在来種と外来種の違いについて学びました。

初めて触れるザリガニにみんな興味津々。



さいごは、捕まえたさかなを川に返します。

特集 「インターンシップ」

9月4日～9月6日の3日間、帯広工業高等学校 環境土木課2年生の二人がインターンシップに来てくれました。



施工中の現場見学をはじめ、測量実習や最新機器の操作などを体験してもらいました。

熱心に話を聞きながら、たくさんの質問を投げかけてくれた二人。現場を見つめるその真剣な眼差しは、まさに未来の現場代理人！とても頼もしかったです。



ドローンの
操縦体験



施工現場見学



現場での
測量実習



3Dレーザ
スキャナーを
使った測量体験



マシンコントロール搭載のブルドーザ



GNSS※1搭載のコンバインドローラー



重機の試乗&
ICT施工体験

※1 Global Navigation Satellite Systemの頭文字。全世界測位衛星システム。

来てくれて
ありがとう！

インターンシップを
通じて、建設業の
印象が変わりました！

自分たちの
知識の幅が
広がりました！



水質事故対応を行いました

2019.09.20

本別町南西部のホロナイ川において重油が流出する事故がありました。川の環境を守るため、工事課の妹尾慎一郎課長が池田河川事務所所長より要請を受け、翌21日(土)と22日(日)(各6~18時)に、当社技術職員ならびに作業員計11名で緊急出動し、回収作業を行いました。



せき止めた重油をシートで吸着し回収する様子

流れ出した重油は計5万リットル(ドラム缶約250本分相当)にのぼり、水面に厚さ約30cmにもなりました。当社はホロナイ川中流から利別川との合流地点までの約480mを担当しましたが、水生生物や水質への影響が懸念されるため薬剤は使えず、手でかき集め、柄杓(ひしゃく)ですくって土のうへ移すという手作業で行いました。また、重油は肌に触れると炎症を起こすなど人体への影響もあるため、ゴーグルやマスク、防護服を装着する等、十分な安全対策の上で作業を行いました。

妹尾課長は「池田河川事務所とは河川災害応急復旧業務に関する協定を結んでいないにも関わらず、当社を頼ってくれたことは素直に嬉しい。社長に上申したところすぐにGOサインが出たので、土木部長らと必要な装備を手配し迅速に出動できた。回収作業では、普段から行っていた基礎訓練が役立った。規模の大小に関わらず油の流出事故は重大だと実感した。」



工事部工事課長
妹尾慎一郎

今回の経験を通じて、発注者や地域から頼られる会社であり続けなければいけないと改めて思った。現在は、緊急時により幅広い対応ができるよう会社の設備等を見直している。」と話しました。



無災害表彰を受賞しました

2019.09.30

当社が昨年施工した、28年災ペケレベツ川災害復旧助成工事2工区が「建設事業無災害表彰」を受賞しました。

これは、現場に従事する人数が多く安全管理も難しい大規模工事において、全工期を通して無事故・無災害であった現場を表彰するものです。



同現場の現場代理人を務めた小川主任は「労働災害が起きれば、工事現場だけではなくみんなが不幸になってしまう。これからは最後はみんなで笑えるよう、無事故・無災害を続けていきたい」と話しました。



工事部工事課主任
小川真司

おしらせ

マイナビ
理系学生のための業界研究
& インターンシップフェア

日時 -
2020.01.12
13:00~17:00
場所 -
札幌パークホテル

建設業の疑問、
なんでも答えます!
ぜひ会いに
来てください。

スケジュール

2019.10-2020.01

- 11.04 振替休日のため休業
- 12.28-01.05 年末年始休暇
- 01.12 理系学生のための業界研究 & インターンシップフェア参加
- 01.13 成人の日のため休業
- 01.31 西江通信“冬号”発行